



(24)

エネルギー管理を事業化

省エネコンサルティングを手がける、低炭素化支援の松島康浩社長。全国のエネルギー管理士82人が参加する「一般社団法人全国エネルギー管理士連盟」を立ち上げたほか、同社サイトで省エネ情報を共有する取り組みにも力を注ぐ。環境問題の「パイオニア的存在だ」。

松島さんは、山梨大学工学部工学研究科機械システム工学専攻で学び、1998年にダイハツのグループ会社に就職。船舶やビルなどの発電用設備、雨水ポンプ用エンジンの受託設計を行った。

低炭素化支援

傍らでかねてから強く抱いていた地球温暖化問題への思いが捨てきれず、2005年に名古屋市内で省エネサービスを事業化した会社に転職した。同社はその後、親会社に吸収され、松島さんは引き続き省エネ診断や省エネ法対応支援などを担当していたところ、「09年に改正省エネ法が施行され、これを絶好の機会と捉え、独立へ舵を切った」と話す。決意してから10年3月末に退職するまでは、終業後の時間を活用して、あいち産業振興機構が運営する「あいち創業プラザ」に通い、起業に必要な手続きや法令などの知識を身に付けた。退職してからは起業への具体的な作業に取り組



松島康浩社長

み、同年5月18日、同社の法人登記にこぎつけた。

創業時の資本金250万円に、それまでの蓄え全てを投じた。事業を始める時点で顧客はなく、文字通りゼロの状態からの出だった。

そこからまず、自社のホームページ拡充に力を入れた。「省エネ関連情報や事業内容をわかりやすく説明することで、当社の信用を勝ち取りたかった」と振り返る。そうした努力が実り、11年夏には土岐市の公共施設で省エネ診断などの仕事を落札することができた。

現在、大量にエネルギーを消費する工場など向けに、インターネットサイト「エネ共」を通じて省エネ情報の共有化拡大を推進している松島さん。「今後も前を向き、地球温暖化問題解決に貢献する事業を軌道に乗せたい」と、自らの信念を貫き通す構えを見せる。

【プロフィール】まつしま・やすひろ 42歳。長野県中野市出身

【企業メモ】本社▽電話052・684・4173▽設立2010年5月▽従業員数18人▽売上高4800万円(16年4月期)